

ニュースレター発送作業に携わって

学生 古信宏一

今回、日韓アジア基金のニュースレター発送作業のボランティアに初めて参加させて頂きました。ボランティア紹介のサイトで見つけ、国際性のある内容に興味があったので応募しました。カンボジアの子どもたちに無償で教科書を提供していくという活動や、ビビンの会の理念にとっても感銘を受けました。今回はニュースレターの発送作業でしたので、初めてのボランティアとしては難しくなく、また一緒に参加された方達と楽しく話しながら作業できたのでとても良かったと思いました。またスタッフの方が親切でスムーズに作業することができました。



資料の綴じ合わせ作業中

私は大学で公共政策を専攻しており、海外、特に発展途上国への無償資金協力や経済連携、NGO 団体の活動に関心があります。また発展途上国の状態を測るメジャーとして教育（識字率や進学率）があげられますが、これまで教科書を手にする事ができない子どもたち、という視点で見たことはありませんでした。ですが実際には、発展途上国においては政府が教科書を提供する財政力がないケースが少なくなく、日本を始めとする他国からの援助を受けていること、そしてそれが子どもたちにとってどれほど重要なことかを日韓アジア基金の活動を通して学びました。この日韓アジア基金は韓国出身の方が提案され、

日本との協力により現在までの活動に至ると聞いています。また多くの方の支援があってこそ一つ一つの活動が成り立っています。今回縁できたことをきっかけに自分の中でも、海外に目を向け、発展途上国に対してできることはないか、思索し実践していきたいと思います。

私は今回のボランティアを通して築いた縁と、発展途上国への貢献をこれからも大切にして参りたいと思います。日韓アジア基金の活動は、年に4回、ニュースレターの発送作業だけでなく、アジアの学生との交流や、NGO団体の大きなイベントへの参加もあると聞いています。是非これからも日韓アジア基金の活動に参加できたらと思います。